
鹿嶋市まち・ひと・しごと創生総合戦略
(2022年度版)

令和4年3月

令和5年1月改訂(案)

鹿嶋市まち・ひと・しごと創生総合戦略

【2022年度版】 目次

I	総合戦略の位置付け	1
1	総合戦略の位置付けと期間	1
2	基本計画に定める2つの基本目標	2
3	基本計画に定める5つの政策	2
4	まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立	3
5	基本計画と総合戦略の体系	4
II	戦略の企画・実行に当たっての基本方針と計画期間	6
III	戦略の設定	6
《戦略1》	子育て支援	7
《戦略2》	多様な暮らし方支援	10
《戦略3》	健康づくり支援	11
《戦略4》	産業創出	13
《戦略5》	市街地整備	17
《戦略6》	行政の効率化	19

Ⅰ 総合戦略の位置付け

1 総合戦略の位置付けと期間

第四次鹿嶋市総合計画では、2022年度（令和4年度）を計画開始年度とし、25年後の鹿嶋市の「あるべき姿・ありたい姿」（基本構想）を思い描き、当初10年間の方針（基本計画）を定めています。

また、基本計画では、地方創生の理念や考え方を取り込んで策定されているため、鹿嶋市では、鹿嶋市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）を、基本計画の施策目標を達成するための行動計画として位置付け、重点的に実施すべき事業を定めることとします。

当初の計画期間は、基本計画の開始年度から5年、2026年度（令和8年度）までとしますが、急激に変化する社会情勢や多様化する市民ニーズ等に対応し、必要に応じて見直しを行います。

なお、「第2期総合戦略」は計画期間を2024年度（令和6年度）までとしていましたが、2021年度（令和3年度）を終期とし、地方創生に係る事業は本総合戦略に継承されることとします。

図-1 計画の構成

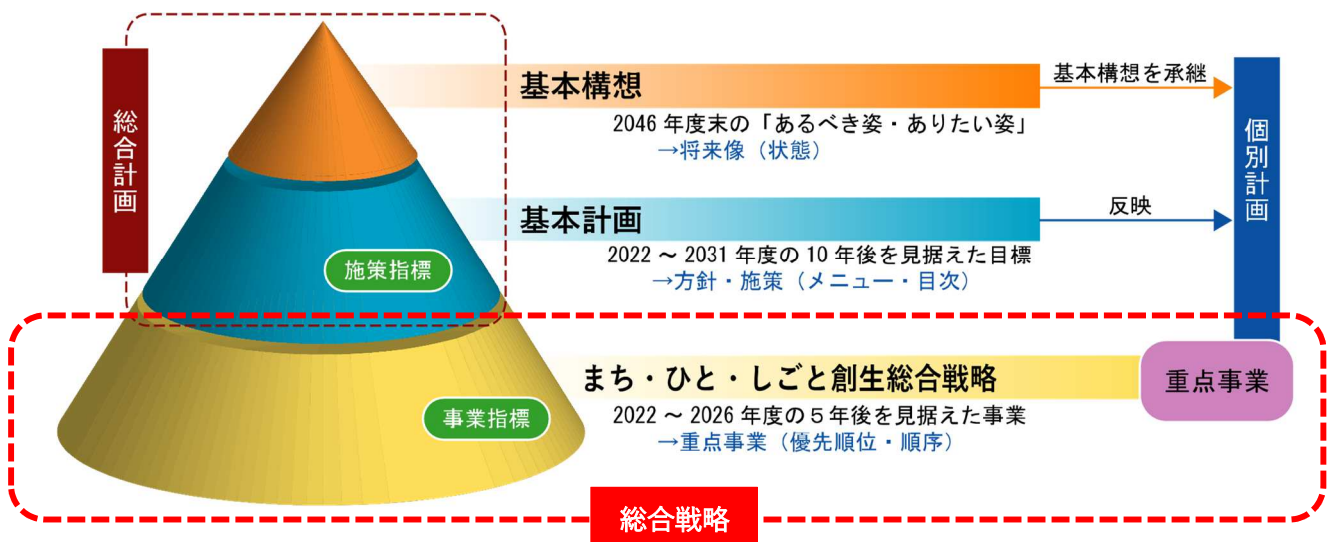
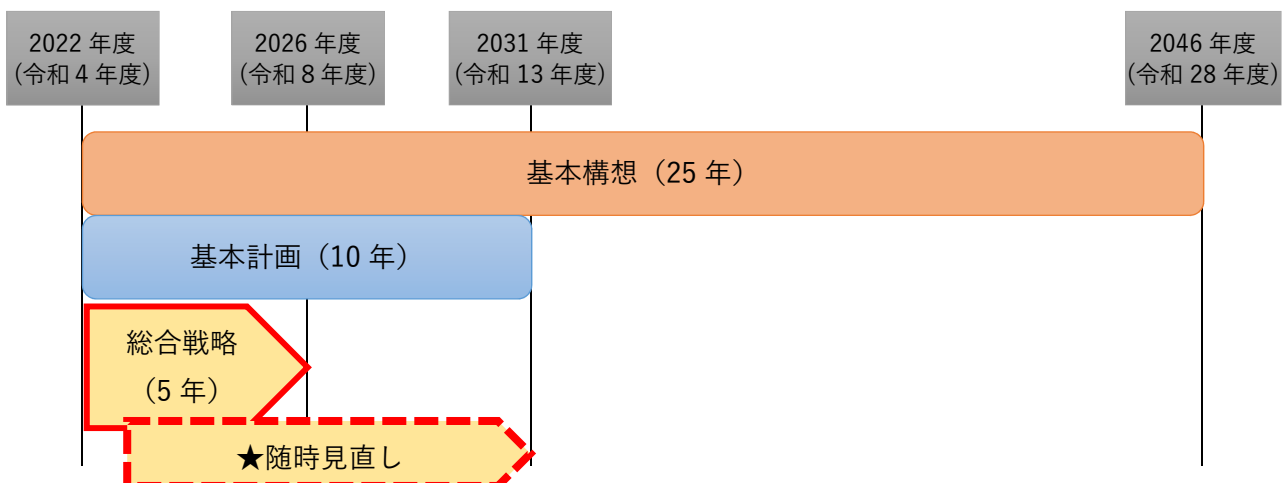


図-2 計画期間



2 基本計画に定める2つの基本目標

第四次鹿嶋市総合計画基本構想では、市の将来像として「Colorful Stage KASHIMA」を掲げ、基本計画（2022-2031）において10年間で目指すべき基本目標を設定しています。

基本目標－1では、「ひと」と「しごと」に関して、市民の暮らし方や意識、仕組みなどの人の活動に係る分野の目標で、「人生100年をあざやかに生きる」ことを目指します。

基本目標－2は、「しごと」と「まち」に関して、産業・経済やまちそのものの構造などの人の活動を支える基盤に係る分野の目標で、「人生100年を支える舞台を整える」ことを目指します。

3 基本計画に定める5つの政策

2つの基本目標を達成するため、そして将来像として描いた25年後のイメージに向けて、5つの基本政策を設定します。

基本目標－1 人生100年をあざやかに「鹿嶋」で生きる

ひと しごと

1 多様性を理解し 共に生きる

年齢、性別、国籍等にかかわらず、鹿嶋に暮らす人たちの多様な生き方を認め合い、お互いに助けあうまちづくりに取り組みます。（キーワード：「多様性」「子育て応援」）

2 共に学び成長しながら 生きる

鹿嶋の未来を担う人財を育みながら、自らも共に学び成長し、新たな鹿嶋文化を生み出すまちづくりに取り組みます。（キーワード：「人財育成」「オーナーシップ」）

3 スポーツに親しみ 健康に生きる

鹿嶋の強みであるスポーツを生かして、心身の健康づくりに励み、一人ひとりが人生を豊かに生きるまちづくりに取り組みます。（キーワード：「スポーツ」「健康」）

基本目標－2 人生100年を支える舞台を「鹿嶋」に整える

まち しごと

4 環境未来都市・鹿嶋を つくる

未来に持続可能な都市となるために、鹿嶋の豊かな自然環境と経済のバランスがとれた産業への転換となるまちづくりに挑戦します。（キーワード：「環境未来都市」）

5 スマート&コンパクト な鹿嶋をつくる

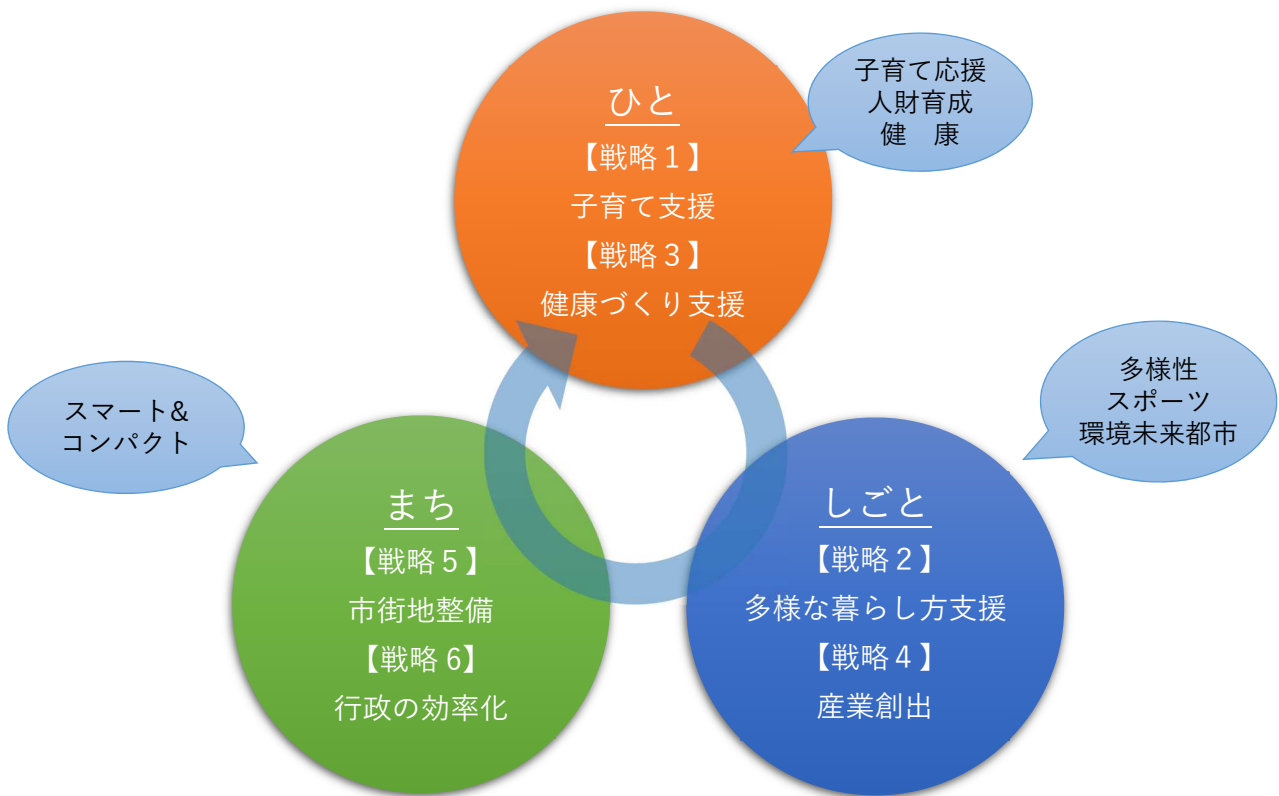
台地上に形成される市街地を活用し、情報技術や公共交通等による連携化を進め、安全・安心かつ効率的なまちづくりに挑戦します。（キーワード：「スマート&コンパクト」）

4 まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

基本計画をまち・ひと・しごとの好循環につなげ、地域創生を図るため、基本計画の施策のうち重点的に行う事業を総合戦略に位置付けます。

2022~2026年度の総合戦略では、基本計画で定めた政策・施策や各施策指標の達成に向け、基本計画のキーワードとまち・ひと・しごとの観点から6つの戦略で取り組むものとします。

図-3 鹿嶋市における「まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立」の考え方

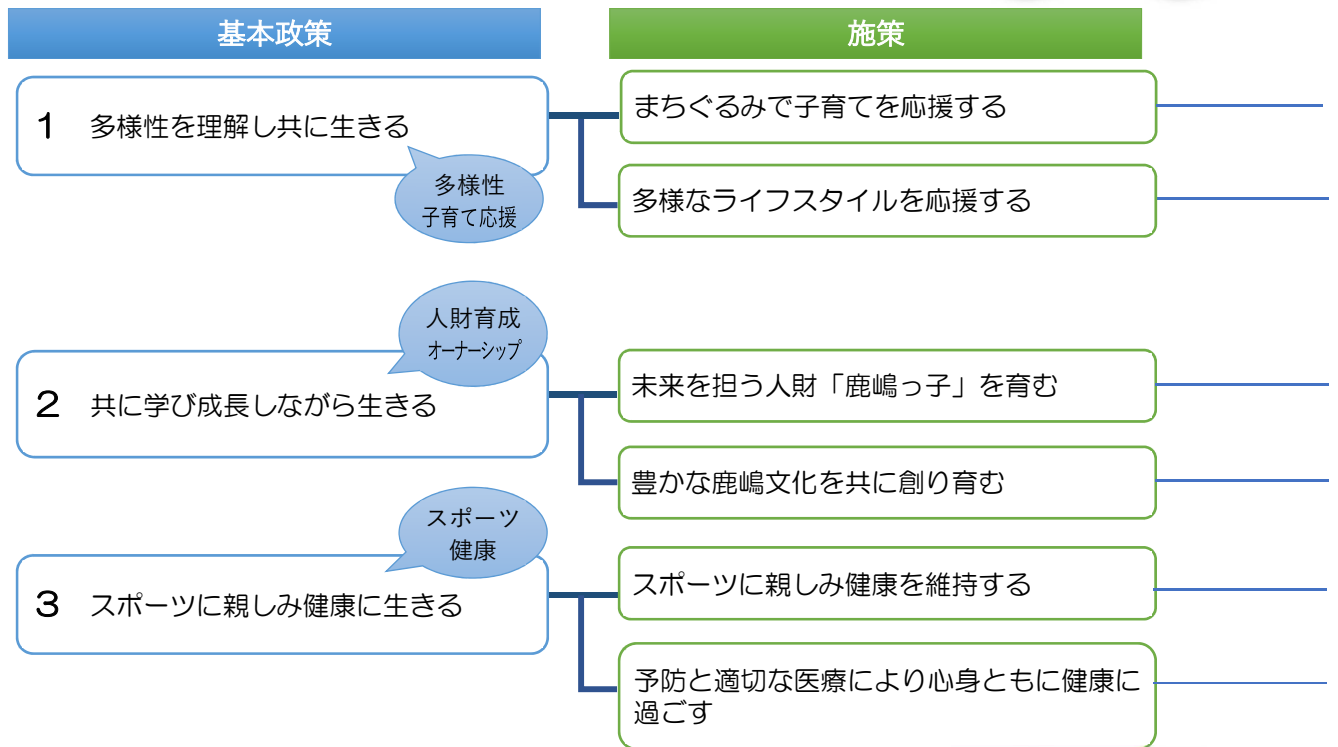


5 基本計画と総合戦略の体系

基本目標 - 1 人生 100 年をあざやかに「鹿嶋」で生きる

ひと

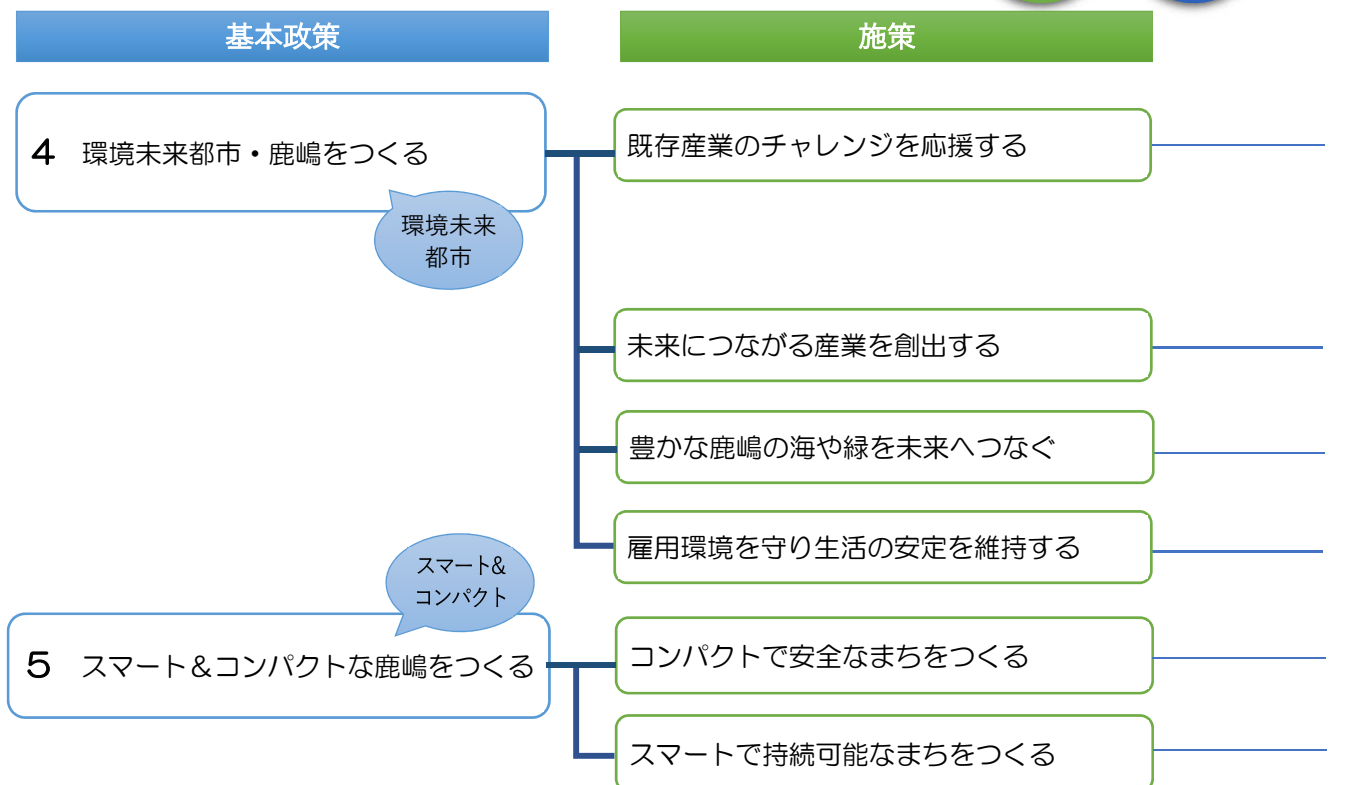
しごと



基本目標 - 2 人生 100 年を支える舞台を「鹿嶋」に整える

まち

しごと



施策指標

【目標：2031 年度】

出生数／出生率

人口の社会増数

「将来の夢や目標を持っている」と答えた中学生の割合

「鹿嶋を誇れる」と答えた中学生・高校生の割合

成人の週1回以上のスポーツ実施率

平均自立期間

主な事業指標

【目標：2026 年度】

待機児童数

地域子育て支援拠点の利用割合

オンライン関係人口
(鹿嶋市ファンサイト等の登録数)

事業者((株)鹿嶋アントラースFC
など)と連携したキャリア教育実施回数

中学3年生英検3級相当率

学校における教職員の授業公開
の年間日数

地域イベント参加者数

郷土図書の貸出数

市立スポーツ施設利用者数

特定健康診査受診率／特定保健
指導の実施率

総合戦略【基本的方向】

戦略1：
子育て支援

- ・子どもを産み、育てやすい支援策
- ・「鹿嶋っ子」の郷育（キャリア教育、郷土愛の醸成）など

戦略2：
多様な暮らし方支援

- ・鹿嶋のロケーションを生かした多様な働き方応援（都心へのアクセス、テレワーク、移住・定住、ワーケーション支援）
- ・ふるさと納税促進策 など

戦略3：
健康づくり支援

- ・ヘルスケアの事業化
- ・介護予防事業（フレイル対策）
- ・重症化予防 など

施策指標

【目標：2031 年度】

主要宿泊施設の宿泊者数

農水産物売上額

鹿嶋港周辺への投資
(固定資産税の課税標準額)

市域の温室効果ガス排出量
(エネルギー起源二酸化炭素)

有効求人倍率

市街化区域内及び大野三駅周辺の人口

将来負担比率／実質公債費比率

主な事業指標

【目標：2026 年度】

スポーツ合宿の宿泊者数

認定農業者数

鹿嶋港外港地区を利用する洋上
風力発電事業者数

市施設の温室効果ガス排出量
(エネルギー起源二酸化炭素)

市内公共交通カバー率

市街化区域内のインフラ整備率
(下水道)

地方債の残高

地方公共団体の情報システムの
標準化

総合戦略【基本的方向】

戦略4：
産業創出

- ・プロスポーツ産業の新規分野展開
- ・グリーン成長分野への挑戦（洋上風力等の再生可能エネルギー）
- ・農業・水産業の6次産業化、スマート化
- ・鹿嶋神宮周辺の中心市街地活性化事業 など

戦略5：
市街地整備

- ・コンパクトシティ実践事業（市街地及び生活拠点の集約と連携）
- ・地域公共交通の活用推進
- ・鹿嶋神宮周辺及びスタジアム周辺 など

戦略6：
行政の効率化

- ・スマートシティ実践事業（行政DX、公共施設へのWi-Fi導入等）
- ・公共施設の集約、長寿命化事業 など

II 戦略の企画・実行に当たっての基本方針と計画期間

○政策5原則

国における「まち・ひと・しごと創生」政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に則って戦略展開を図ります。

○推進体制とOODA*¹（Observe-Orient-Decide-Act）ループの徹底

総合戦略事業を推進するため、市民代表や産官学金労言*²の関係者など外部有識者で構成する「鹿嶋市総合計画審議会」において、第四次鹿嶋市総合計画の進捗管理とともに、重要業績評価指標*³（KPI；Key Performance Indicator の略称）に基づき、継続的に評価していきます。

また、既存の評価にとどまることなく、OODAループを徹底することにより、将来の社会環境に柔軟に対応していきます。

○計画期間

この「鹿嶋市まち・ひと・しごと創生総合戦略【2022年度版】」の計画期間は、2022年度（令和4年度）から2026年度（令和8年度）までの5年間とします。

なお、「第2期総合戦略」の計画期間を2024年度（令和6年度）までとしていましたが、2021年度（令和3年度）を終期とし、地方創生に係る事業は本総合戦略に継承されることとします。

III 戦略の設定

6つの戦略を設定し、戦略ごとに基本的方向、具体的な事業とその指標を設定します。

なお、体系に示した「主な事業指標」を重要業績評価指標（KPI）と位置付け、その他の事業指標については、別途行政評価対象とします。

戦略（分野）		関係する施策指標【基本計画】
1	子育て支援	出生数／出生率、「将来の夢や目標を持っている」と答えた中学生の割合、「鹿嶋を誇れる」と答えた中学生・高校生の割合
2	多様な暮らし方支援	人口の社会増数
3	健康づくり支援	成人のスポーツ実施率、平均自立期間
4	産業創出	主要宿泊施設の宿泊者数、農水産物売上額、鹿島港周辺への投資（固定資産税の課税標準額）、市域の温室効果ガス排出量（エネルギー起源二酸化炭素）
5	市街地整備	市街化区域内及び大野三駅周辺の人口
6	行政の効率化	将来負担比率／実質公債費比率

*1 OODA：目標を達成するためのビジネス手法の一つで、Observe（観察）→Orient（状況判断）→Decide（意思決定）→Act（行動）の4段階を繰り返すことにより、業務を成功に導くための方法。

*2 産官学金労言：地方創生において、行政だけでなく各分野での専門的知見を生かした取組を実現するための多様な主体として、（産）産業界・（官）行政機関・（学）教育機関・（金）金融機関・（労）労働団体・（言）メディアを指す。

*3 重要業績評価指標（KPI）：key performance indicator の略で、総合戦略の策定において、各施策の効果を客観的に検証できる指標として、政策分野ごとに定める指標。

(1) まちぐるみで子育てを応援する

◆ 基本的方向

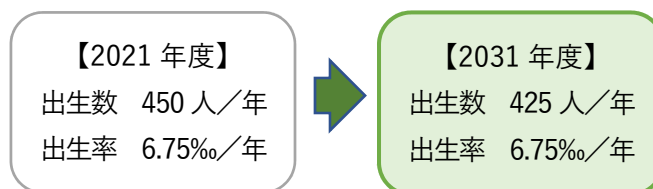
出産・子育てを希望する人が、培った職業や経験・知識を持続できる環境を整備し、希望するライフプランを実現できるよう、出産・子育て環境の向上や支援体制の充実を目指します。

家庭や職場、地域など、まちぐるみで子育てを応援する機運の醸成や仕組みづくりを目指します。

◆ 施策指標（基本計画）

施策指標 1 - 1：出生数／出生率

- 女性が仕事をしながら出産・子育てしやすい環境づくりに積極的に取り組み、バランスの取れた年齢構成の人口増を目指します。



◆ 具体的な事業と指標

子どもを産み育てたい人が、希望を叶えやすくなるためのサービスや拠点の充実について重点的に取り組み、出生数や出生率の維持につなげます。

基本計画 施策	総合戦略事業	指標 区分	指標名	現状値 (2021年度末)	目標値 (2026年度末)
まちぐるみ で子育てを 応援する	特別保育・保育サ ービス支援事業	KPI	待機児童数	0人/年	0人/年
		認定こども園等の待機児童を常時ゼロに保つ			
	地域子育て支援セ ンター運営経費	KPI	地域子育て支援拠点の利用割 合	9.2%/年	16.8%/年
		全未就学児のうち、地域子育て支援拠点(地域子育て支援セ ンター)の利用児童の割合を伸ばす			

(2) 未来を担う人財「鹿嶋っ子」を育む

◆ 基本的方向

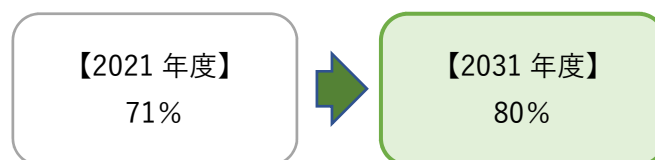
学校教育においては、これからの国際化社会に必要なスキルや、生き方の選択に役立つ教育を充実させ、子どもたちが自ら考え、将来の夢や目標を描ける機会の充実を目指します。

家庭や地域との連携により、皆で将来の鹿嶋市を担う子どもや若者の育成に取り組みます。

◆ 施策指標（基本計画）

施策指標 2-1：「将来の夢や目標を持っている」と答えた中学生の割合

- ・未来を担う人財を育むため、「将来の夢や目標を持っている」生徒が増えるような、子どもたちが未来を描ける教育や社会づくりを目指します。



◆ 具体的な事業と指標

児童生徒を対象とした独自のキャリア教育や英語教育など、将来の選択肢を広げる鹿嶋らしい教育の充実について重点的に取り組むとともに、教職員の指導力の向上や学力の向上を目指し、子どもたちの将来の夢や目標を育みます。

基本計画 施策	総合戦略事業	指標 区分	指標名	現状値 (2021年度末)	目標値 (2026年度末)
未来を担う 人財「鹿嶋っ 子」を育む	中学校教育振興支 援事業	KPI	事業者（株鹿島アントラーズ FCなど）と連携したキャリア 教育実施回数	27回／年	70回／年
			子どもたちのキャリア形成に焦点を当てた授業の回数を増 やす		
	英語指導事業経費	KPI	中学3年生英検3級相当率	55.5%	65%
			G T E C（小学生から社会人まで英語力が測定できるスコ ア型英語4技能テスト）の結果を向上させる		
	教職員指導対策費	KPI	学校における教職員の授業 公開の年間日数	260回／年	520回／年
			鹿嶋市授業改善プロジェクトをとおして、指導力の向上及 び児童・生徒の国語・算数（数学）の学力（特にすべての 学習で重要な国語教育による言語能力）の向上を目指す		

(3) 豊かな鹿嶋文化を共に創り育む

◆ 基本的方向

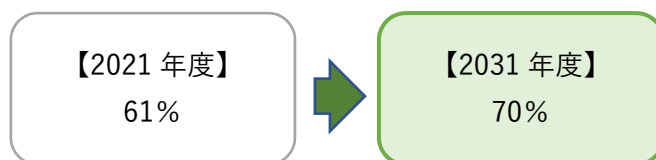
子どもも大人も共に、鹿嶋神宮，鹿嶋開発，(株)鹿嶋アントラーズ・エフ・シー（以下「鹿嶋アントラーズ」という。）といった鹿嶋市の歴史や特色に触れる機会を増やし，郷土愛を持って魅力を未来につないでいくことを目指します。

鹿嶋市に興味を持ってもらえる場や，共感し応援してもらう機会を充実させることで，新たな鹿嶋文化の創出につなげることを目指します。

◆ 施策指標（基本計画）

施策指標 2-2：「鹿嶋を誇れる」と答えた中学生・高校生の割合

- ・ 若者が鹿嶋の歴史，文化を理解し，愛着を持ち続けられるよう，郷土教育等の機会を充実させ「鹿嶋を誇れる」若者を増やすことを目指します。



◆ 具体的な事業と指標

子どもたちの地域活動への参加促進や，歴史文化に触れる機会を増やし，郷土愛を育む「郷育」に重点的に取り組み，「鹿嶋を誇れる」若者の増加を図ります。

基本計画 施策	総合戦略事業	指標 区分	指標名	現状値 (2020年度末)	目標値 (2025年度末)
豊かな鹿嶋 文化を共に 創り育む	公民館活動費	KPI	地域イベント参加者数	17,263人 ／年	67,500人 ／年
		子どもたちの地域活動に参加する回数を増やす			
	文化財保護経費	KPI	郷土図書の貸出数	1,010冊 ／年	1,300冊 ／年
		学校の授業において郷土教育を推進し，中央図書館等にて郷土の歴史に関する講演会や郷土図書のPR掲示を実施することで児童生徒等への郷土図書の貸出を充実させ，歴史への興味と愛着を深める			

(1) 多様なライフスタイルを応援する

◆ 基本的方向

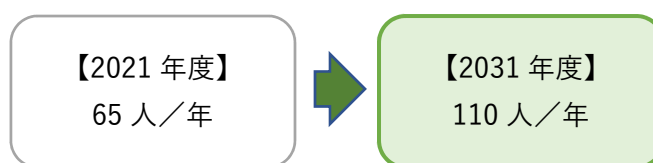
鹿嶋市に暮らす高齢者や障がい者，外国人など様々な状況にある人々が，多彩な個性を生かし生き生きと活躍し，鹿嶋市の新たな魅力となるよう，ダイバーシティ*社会の実現に向けた仕組みづくりを目指します。

鹿嶋市に暮らす人々がコミュニティの内や外の様々な人と関わり，そこに生まれた暮らし方，働き方が鹿嶋市の新たな活力になるよう，共創のまちづくりに取り組みます。

◆ 施策指標（基本計画）

施策指標 1-2：人口の社会増数

- ・ 様々な人が自分に合ったライフスタイルを選択できるよう，社会の仕組みや働き方，暮らし方のバリエーションを豊かにし，人口の社会増を目指します。



◆ 具体的な事業と指標

SNS等の情報発信，スポーツ合宿やワーケーション等による一時滞在といった鹿嶋市に興味のある人や関係人口を増やす活動に重点的に取り組み，移住・定住へとつなげます。

基本計画 施策	総合戦略事業	指標 区分	指標名	現状値 (2021年度末)	目標値 (2026年度末)
多様なライフスタイルを応援する	総合戦略推進事業	KPI	オンライン関係人口 (鹿嶋市ファンサイト等の登録数)	5,000人	50,000人
		鹿島アントラーズPR大使やファンサイトなどのオンライン関係人口数を増やす			
	地域情報発信事業	-	SNS等フォロワー数	40,000人	60,000人
		SNS等 (Facebook, Twitter, Instagram, マチイロ, LINE, かしまナビ, かなめーる等) のフォロワー数を増やす			

*ダイバーシティ： 人々の多様性や様々な価値観，相違点等を意味する。「ダイバーシティ社会」とは，多様性を受容し，一人ひとりを大切にする社会のこと。

(1) スポーツに親しみ健康を維持する

◆ 基本的方向

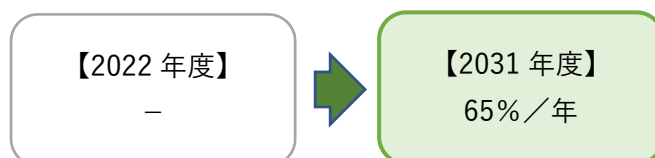
これまでのサッカーをはじめ、武道、海岸を活用したビーチスポーツなどの様々なスポーツ活動への取組を生かし、市民の暮らしにスポーツや運動に取り組める機会を充実させます。

これらを通じた交流活動や経済活動を広めることで、子どもから大人まで楽しみながら健康の維持・改善に取り組める環境づくりを目指します。

◆ 施策指標（基本計画）

施策指標3-1：成人の週1回以上のスポーツ実施率

- 様々な場面でスポーツや運動を積極的に取り入れ、一人ひとりが日頃から生活習慣病等の予防に努め、心身を健康に保つことを目指します。



※現状値は、2022年度に設定

◆ 具体的な事業と指標

スポーツや運動に積極的に取り組む市民を増やすため、市内のスポーツ施設の活用促進に重点的に取り組み、成人のスポーツ実施率の向上による健康の維持・改善を図ります。

基本計画 施策	総合戦略事業	指標 区分	指標名	現状値 (2021年度末)	目標値 (2026年度末)
スポーツに 親しみ健康 を維持する	社会体育振興事業 費	KPI	市立スポーツ施設利用者数	210,781 人/年	400,000 人/年
		市立スポーツ施設の利用者数を増やす			

(2) 予防と適切な医療により心身ともに健康に過ごす

◆ 基本的方向

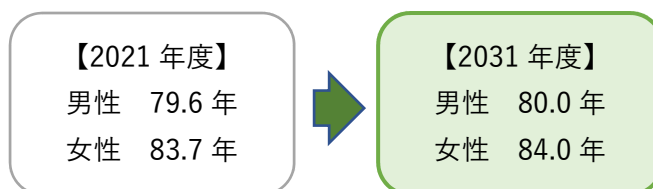
地域医療や保健予防体制の充実で重症化の予防を図り、あらゆる世代が将来にわたり鹿嶋市の中で持続的に暮らしていけるような保健医療体制の確保を目指します。

高齢になっても、地域の中でお互いに助けあいながら豊かに生きられる社会を目指すとともに、減少する若い世代の負担を減らし、将来に希望が持てる社会づくりを目指します。

◆ 施策指標（基本計画）

施策指標 3-2：平均自立期間

- 健康で自立して生活できる期間を延伸し、地域の中でできるだけ長く自分らしい生き方を実現できる社会を目指します。



◆ 具体的な事業と指標

特定健康診査や保健指導等による生活習慣病予防やフレイル*予防等の対策に重点的に取り組み、健康で自立して生活できる期間の延伸や社会保障費の増加の抑制につなげます。

基本計画 施策	総合戦略事業	指標 区分	指標名	現状値 (2021年度末)	目標値 (2026年度末)
予防と適切な医療により心身ともに健康に過ごす	特定健康診査等事業費	KPI	特定健康診査受診率	32.0%/年	60.0%/年
		40歳から74歳までの方を対象に、メタボリックシンドロームに着目した健診の受診率を向上させる			
	特定健康診査等事業費	KPI	特定保健指導の実施率	52.0%/年	60.0%/年
		特定健診の結果から、生活習慣病の予防対策が必要な方に対して行う保健師、管理栄養士などの生活習慣改善指導の実施率を向上させる			

*フレイル： 加齢に伴う心身の虚弱状態。健康な状態と要介護状態の中間段階。

(1) 既存産業のチャレンジを応援する

◆ 基本的方向

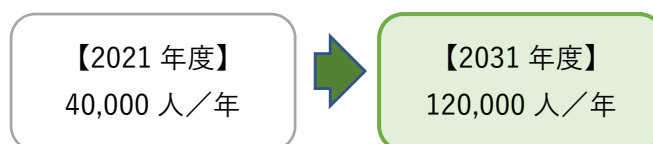
地域の環境を生かして営まれる農業・漁業について、未来に向けて商工業と連携した6次産業化やスマート化等、産業の枠を超えた新たな挑戦を積極的に支援します。

首都圏や成田空港に近い地の利、鹿島神宮や鹿島アントラーズといった全国ブランド、海を活用したマリンスポーツ、緑の中のアウトドアなど、鹿嶋市が持つ様々な地域資源を活用した新たな観光スタイルにより地域経済の活性化へとつなげる挑戦を積極的に支援します。

◆ 施策指標（基本計画）

施策指標4-1-1：主要宿泊施設の宿泊者数

- ・ スポーツツーリズム、アグリツーリズム等の充実や、ワーケーション*などの新たな滞在型観光コンテンツの創出により、宿泊者数の増加を目指します。



施策指標4-1-2：農水産物売上額

- ・ 鹿嶋市の特産品等を生かし、地域活性化の足掛かりとするため、農水産物の売上増加を目指します。



*ワーケーション： 仕事（ワーク）と休暇（バケーション）を組み合わせた造語で、地方やリゾート地などで働きながら休暇を過ごすこと。

◆ 具体的な事業と指標

鹿嶋市観光協会，宿泊事業者，（一社）アントラーズホームタウンDMO等による観光事業，新規就農者の支援等，既存産業の活性化や改革に重点的に取り組み，宿泊者数の増加や農水産物の生産向上を図ります。

基本計画 施策	総合戦略事業	指標 区分	指標名	現状値 (2021年度末)	目標値 (2026年度末)
既存産業の チャレンジ を応援する	広域観光対策事業	KPI	スポーツ合宿の宿泊者数	2,500人 ／年	8,000人 ／年
		鹿嶋市観光協会，宿泊事業者，観光地域づくり会社「（一社）アントラーズホームタウンDMO」等を支援し，市内スポーツ合宿の誘致数を増やす			
	農業振興事業	KPI	認定農業者数	126人	141人
		認定農業者や認定新規就農者を支援することにより，市の農業発展の中心的担い手を確保する			

(2) 未来につながる産業を創出する

◆ 基本的方向

「2050年カーボンニュートラル*1に伴うグリーン成長戦略*2」では、電力部門の脱炭素化に向け、洋上風力・太陽光等の再生可能エネルギーを成長分野に位置付けています。

今後は、鹿島臨海工業地帯の産業ストックの脱炭素化に向けた取組や海洋再生可能エネルギー発電設備等拠点港湾(基地港湾)を活用し、未来に向けて地域の経済と環境の好循環を生み出す新たな産業分野の創出に取り組みます。

◆ 施策指標 (基本計画)

施策指標 4-2：鹿島港周辺への投資 (固定資産税の課税標準額)

- 鹿島港全体としてのカーボンニュートラルポート化及び海洋再生可能エネルギー発電設備等拠点港湾(いわゆる基地港湾)を核とした、洋上風力関連産業の拠点化により、市内に民間投資が促されることを目指します。



◆ 具体的な事業と指標

鹿島臨海工業地帯では、鹿島港を中心に製鉄業等の工場や火力発電所が集積し、鹿嶋市の経済発展や雇用を支えてきました。今後は、産業ストックの脱炭素化に向けた取組や海洋再生可能エネルギー発電設備等拠点港湾(基地港湾)を活用し、地域の経済と環境の好循環を生み出すグリーン成長分野に挑戦していきます。

また、鹿島アントラーズを代表とするスポーツ資源を他分野の資源と連携させることにより、新たな地域資源の核とすることを目指します。

基本計画 施策	総合戦略事業	指標 区分	指標名	現状値 (2021年度末)	目標値 (2026年度末)
未来につな がる産業を創出 する	港湾振興事業	KPI	鹿島港外港地区を利用する洋上風力発電事業者数	0事業者	1事業者
		令和4年度中に洋上風力発電事業推進ビジョンの策定と指標の設定を行う			
	総合戦略推進事業	-	カシマサッカースタジアムエリア構想の策定	-	策定済
		鹿島アントラーズが中心となって検討を進める新サッカースタジアムを核としたエリア構想をまとめる			

*1 カーボンニュートラル： 温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言。

*2 グリーン成長戦略： 「経済と環境の好循環」をつくっていく産業政策。

(3) 豊かな鹿嶋の海や緑を未来へつなぐ

◆ 基本的方向

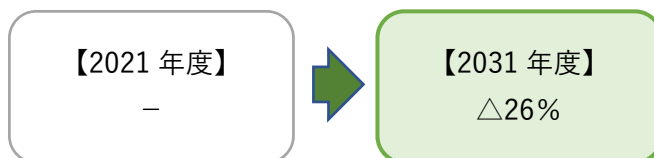
工業化（1750年頃）以降の世界の急激な気温上昇により、我が国でも豪雨の頻発や台風の強大化、自然生態系の変化、農産物や漁獲量の変化等、様々な面で課題が出始めています。

鹿嶋の豊かな環境、そして地球環境を未来につないでいくために必要な、温室効果ガス排出量の削減や資源の循環、自然環境の保全等、持続可能な社会づくりを目指します。

◆ 施策指標（基本計画）

施策指標 4 - 3：市域の温室効果ガス排出量（エネルギー起源二酸化炭素）

- 地球温暖化防止に貢献し、鹿嶋の豊かな自然と共生する都市となるため、市域の温室効果ガス排出量の削減を目指します。



◆ 具体的な事業と指標

温室効果ガス排出量の削減に取り組むため、まずは市施設における排出量の測定を行ない、削減目標の達成に重点的に取り組み、その施策を市域全体に広げます。

基本計画 施策	総合戦略事業	指標 区分	指標名	現状値 (2021年度末)	目標値 (2026年度末)
豊かな鹿嶋の 海や緑を未来 へつなぐ	地域省エネ事業	KPI	市施設の温室効果ガス排出量 (エネルギー起源二酸化炭素)	-	△20%
		市施設の温室効果ガス排出量を令和4年度から測定を開始し、削減を図る			

(1) コンパクトで安全なまちをつくる

◆ 基本的方向

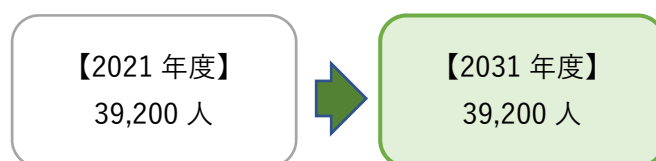
南北に長い市域を効率的に活用するため、各地区の生活拠点や産業拠点機能を集約し、これらを結ぶ効果的な交通軸などのネットワークづくりを進め、全体として魅力と利便性が最適化された土地利用・基盤づくりを目指します。

大規模化する自然災害のリスクに配慮した土地利用、都市基盤づくりや、それを補完する危機管理体制の充実に取り組み、将来も安全に住み続けられるまちづくりを進めます。

◆ 施策指標（基本計画）

施策指標 5-1：市街化区域内及び大野三駅周辺の人口

- 市街化区域内や大野三駅周辺に生活の拠点機能を集積し、計画的な人口の配置を進め、効率的で安全な土地利用の推進と効果的な交通・情報ネットワークづくりを目指します。



◆ 具体的な事業と指標

市内を誰もが移動しやすい公共交通網や、市街地の暮らしやすさを向上する基盤施設の整備について重点的に取り組み、市街地や駅周辺の生活機能の向上と土地利用の促進を図ります。

基本計画 施策	総合戦略事業	指標 区分	指標名	現状値 (2021年度末)	目標値 (2026年度末)
コンパクト で安全なま ちをつくる	公共交通対策事業	KPI	市内公共交通カバー率	100%	100%
		コミュニティバスやデマンド型乗合タクシー等を運営（支援）することにより公共交通の空白地をなくす			
	【企業会計】下水道 事業	KPI	市街化区域内のインフラ整備率 (下水道)	90.5%	91.5%
		市内の水洗化率を向上させる			

基本計画 施策	総合戦略事業	指標 区分	指標名	現状値 (2021年度末)	目標値 (2026年度末)
コンパクト で安全なま ちをつくる	【企業会計】下水道 事業	-	雨水排水路整備延長(荒野台地区)	930m	1,660m
		荒野台地区の浸水被害の解消を図る			
	幹線道路整備事業	-	交通安全プログラムに計画されている歩道整備延長	8,000m	9,000m
		交通安全プログラムに計画されている歩道整備 (計画延長：23,941m)			
	【企業会計】水道事業	-	配水管の更新延長	4,443m	6,010m
		布設後40年経過した水道管を老朽管と定め、計画的に長寿命化を図る			

(1) スマートで持続可能なまちをつくる

◆ 基本的方向

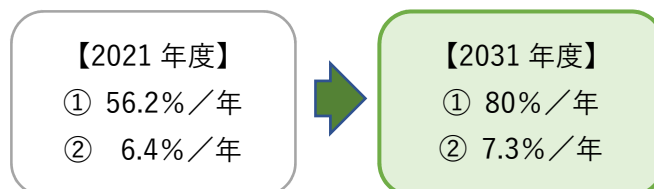
行政におけるICTの活用やDX*を積極的に推進し、行財政運営の効率化やサービスの向上を図り、最適な行政運営を目指します。

将来の人口減少や基幹産業の縮小等による財政規模への影響を踏まえ、公共施設の集約化や長寿命化、適正な資産管理など、計画的に対応できるまちづくりを目指します。

◆ 施策指標（基本計画）

施策指標5-2：将来負担比率／実質公債費比率

- 市の借入金など負債の大きさや返済額の大きさを示す指標を用いて財政状況を判断し、将来的に持続可能なまちづくりの方向性を見極めます。



※①将来負担比率 ②実質公債費比率

◆ 具体的な事業と指標

行政のスマート化を急速に推進するため、国が掲げる地方公共団体の情報システムの標準化作業に重点的に取り組み、行財政運営の効率化を図ります。

基本施策	具体的な事業	事業区分	KPI	現状値 (2021年度末)	目標値 (2026年度末)
スマートで持続可能なまちをつくる	-	KPI	地方債の残高	174.8億円	180億円
		健全な自治体経営を継続するため、市の借入金を一定水準以下に抑える			
	情報政策推進費	KPI	地方公共団体の情報システムの標準化	0事業	20事業
		行政の事務処理を円滑にするための情報システムについて、住民サービス向上や事務負担の軽減等の観点から、国が掲げる地方公共団体情報システムの標準化を推進する			

*DX（デジタルトランスフォーメーション）：データとデジタル技術を活用して、社会ニーズ等に対応するようビジネスや日常生活等を変革すること。